

# アートフロアLIP3 オリジナル 施工説明書

必ずお読みください

# 3mm

NANKAI 南海プライウッド株式会社

本社:〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目15番10号

●ダイヤルイン

北海道・東北営業グループ TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695  
関東営業グループ TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645  
中部営業グループ TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3646  
近畿営業グループ TEL(087)825-3623 FAX(087)825-3647  
中四国営業グループ TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3648  
九州営業グループ TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649  
特需営業グループ TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669  
テクノ営業グループ TEL(087)825-3657 FAX(087)825-3659

ホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp/>

## 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて代替品と交換させていただきます。施工後の交換、補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

## ⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず施工を行った場合には、当社での保証はしかなますのでご注意ください。

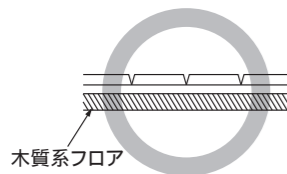
### 施工前の注意

当製品はリフォーム用に開発された製品です。下地をよくお確かめの上、ご使用ください。



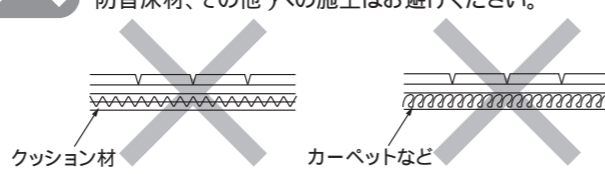
#### 施工可能な下地

木質系フロア、合板、Pタイル



#### 施工不可能な下地

クッション性のある下地(カーペット、畳、クッションフロア、防音床材、その他)への施工はお避けください。



当製品は木製品ですので、微少ではありますが湿度など環境の変化による伸び縮みがあります。そのことを考慮に入れて、施工を行なってください。

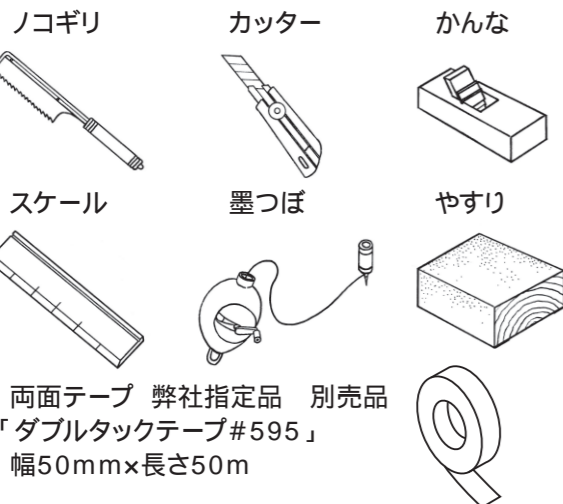
必ず弊社指定の両面テープ「ダブルタックテープ#595」をご使用ください。指定以外のものを使用しますと、フロアの踏み鳴りやの原因となります。

当製品は上履き用として設計しておりますので、土足でのご使用はお避けください。

当製品は下地の影響によりフロア表面の美観を損なう場合がありますので、下地のゴミなどは完全に除去、不陸の調整を入念に行なってください。

フロアをカッターなどで切断する場合、あやまって手を切るなどの傷害を負うおそれがあります。カッターなどの加工工具の使用の際は、十分に注意して作業を行なってください。

### [ 施工に必要な材料 ]



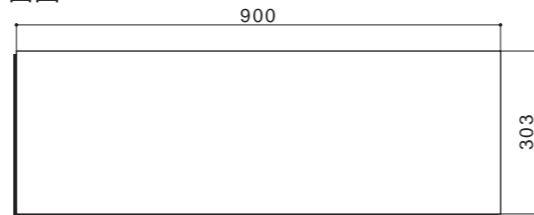
両面テープ 弊社指定品 別売品  
「ダブルタックテープ#595」  
幅50mm×長さ50m

部屋の大きさ	4.5畳	6畳	8畳
必要本数	2本(60m)	2本(75m)	3本(100m)

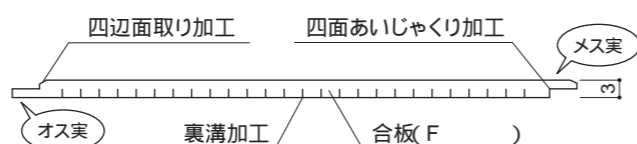
### [ 製品の形状・梱包内容 ]

梱包内容  
フロア(3×303×900mm)12枚/梱  
施工説明書  
取扱説明書

平面図



断面図



## 施工手順

### 1 下地の調整・掃除



1. 下地となる部分は、完全にゴミ、ホコリなどを取り除いてください。接着不良や意匠くずれの原因となります。

2. 段差は0.5mm以下にしてください。0.5mm以上ある場合にはやすりなどで調節してください。



やすりなどで高い方を削り段差をなくします。

3. 下地にきしみ・たわみ・床鳴りなどが発生している場合は、あらかじめ補修してください。

4. 下地の不陸(表面の凸凹)は必ず、1mあたり3mm以下にしてください。

5. 下地となる既存の床に油性ワックスを使用している場合は、市販のワックス除去剤でワックスを除去してください。



⚠️ ご注意 下地の清掃・補修は確実にこなしてください。両面テープが接着不良を起こし、フロアのはがれ、床鳴りの原因になります。

### 2 墨出し・割り付け



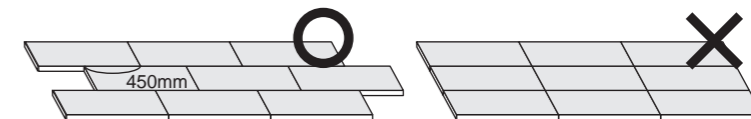
1. 部屋の大きさに応じてフロアの貼り方を考えます。

2. 墨出し(フロア施工位置決め)を行ない、基準線を引いてください。



⚠️ ご注意 壁際にはフロアの伸びによる突き上げや浮きを防止するため、壁とフロアとのすき間を2~3mm設けるようにしてください。下地の継ぎ目上にフロアの継ぎ目が重ならないように割り付けてください。継ぎ目が重なる段差や目すきの原因となります。

3. フロアの貼り方は1列目と2列目を450mmずらして貼ってください。



### 3 フロアの加工



墨出し・割り付けの際、壁際部にあたる箇所や、貼り始め・貼り終わりの箇所についてはフロアをカットします。



フロアはノコギリの他、カッターなどでも加工できます。



⚠️ ご注意 フロアをカッターなどで切断する際、あやまって手を切るなどの傷害を負うおそれがあります。十分にご注意ください。

